京城日報 朝刊 本日朝刊四頁

西南太平洋敵艦隊主力概ね殲滅

敵撃滅に出動するわが艦艇の勇姿 手前は驅逐艦先方は輕巡洋艦(海軍省提供海軍省許可濟第五七一號)

赫々 スラバヤ沖 バタヴィヤ沖 兩海戰の大戰果

五巡洋艦、六驅逐艦を撃沈

巡洋艦四隻を大破 なほ殘敵艦を掃蕩中

大本營發表(三月一日午後四時) 一、ジャバ方面海戰において三月一日早朝までに判明せる戰果左の通り

(一)スラバヤ方面海軍作戰部隊は二月二十七日薄暮より二十八日未明までに**敵米英蘭聯合艦隊に屬する巡洋艦三隻、驅逐艦六隻を撃沈、巡洋艦四隻を大破せり**

(註)本海戰をスラバヤ沖海戰と呼稱す

(二)バタヴィヤ方面海軍作戰部隊は三月一日早朝、**米大巡一隻、濠巡一を撃沈せり**

(註)本海戰はバタヴィヤ沖海戰と呼稱す

二、この兩海戰においてわが蘭印方面所在艦隊は西南太平洋方面敵艦隊主力を概ね殲滅しなほ殘敵を掃蕩中

わが方の損害は驅逐艦一隻小破せるも戰闘航海に差支へなし

皎々たる南海の月明下 華々しい海戰展開

全蘭印を聳動せしむ

【リスボン二十八日同盟】ジャバ島方面における二十七日夜の海戰は全蘭印の耳目を聳動せしめ、蘭印軍司令部の公表が從來に似ず愼重で戰闘の結果については殆んど觸れてをらぬため種々の臆測を生んでゐる樣子である、ユービー・バタヴィヤ電は二十八日斷片的情報を綜合し次の通り報じてゐる

ヘルリッヒ司令長官麾下の聯合國艦隊は二十七日午後輸送船團を護送し來れる日本艦隊とジャバ島方面で遭遇、新聞が讀めるやうな皎々たる南國の月明のもとで華々しい海戰を展開した

陸鷲スンダ海峽で敵軍艦(三千噸級)を爆碎

巡二、驅一にも直撃彈

大本營發表(一日午後四時五十分) 帝國陸軍航空部隊は二月二十七、八の兩日にわたりその主力をもつて西部ジャバ海の敵艦隊を索めて攻撃し、スンダ海峽において三千トン級軍艦一隻を爆碎炎上せしめるとゝもに巡洋艦二隻、驅逐艦一隻に各確實に直撃彈を命中せしめこれに多大の損害を與へたり

西南太平洋敵艦影なし

敵聯合艦隊大半覆滅

ハワイ、マレー兩海戰につぐ戰果

【東京電話】わが蘭印方面所在の帝國海軍部隊は西南太平洋方面敵聯合艦隊主力[illegible]によつて今次の戰果は八[illegible]判明しましてもわがジャバ[illegible]

米英蘭聯合艦隊所屬の巡洋艦三隻驅逐艦六隻を撃沈し巡洋艦四隻を大破せしめ更に他のわがバタヴィヤ方面作戰部隊は一日早朝米濠の巡洋艦を主力とする聯合艦隊と交戰忽ちにしてその米大巡一ならびに初見參の濠輕巡一隻を撃沈、その兩海戰の綜合戰果は撃沈巡洋艦五、驅逐艦六、大破巡洋艦四といふ驚異的なものとなつた、わが[illegible]はさらに[illegible]を續けてゐるほか、[illegible]死物狂ひの脱出を試みる殘餘の巡洋艦を追撃中である、マニラ陷落後遁走を傳へられる米ハート提督を司令長官として編成された西南太平洋聯合艦隊主力は米巡洋艦[illegible]七、英巡若干、ほか驅逐艦多數と推定されてゐたが、エンダウ沖海戰、ジャバ沖海戰、バリ島沖海戰などにより二月二十日までに撃沈された敵艦艇は巡洋艦十二隻、驅逐艦十二隻の多數に上つてゐる點から判斷すればこれらの喪失艦艇は西南太平洋聯合艦隊[illegible]

增援艦隊を送り一切合切の艦艇をかき集め折角再建を企圖しつゝあつた新編米英蘭濠西南太平洋艦隊を一擧に撃滅されたものであり、これにより大東亞海上には一つとして敵の艦影を見ざる結果となつたのである、敵が一縷の望みを托してゐたこの場合の勢ともいふべき敵艦隊は司令官に米アジヤ艦隊スフォード少將を戴き米アジヤ艦隊の殘存艦艇などより成る合衆國西南太平洋艦隊とイギリスアリー司令官麾下のアンザック、ホース(濠洲ニュージランド聯合艦隊)の二つから編成されこれをオランダのヘルフリッヒ中將が指揮して佛印にもわが輸送船の護送に當る[illegible]

蘭印方面敵艦隊主力に立向つたのであるが、かゝる場合の斃が何ほどのこともなし得るわけはなく、[illegible]ことである、司令長官ヘルフリッヒも旗艦が最大攻撃目標になる關係上ハート大將と同樣の運命を辿つたものとみられる、兩海戰を通じ特筆さるべきは我水雷戰隊の夜襲作戰で、廿七日夕刻より廿八日にかけて行はれたスラバヤ沖海戰にはバリ島沖海戰と同樣[illegible]戰を決定的勝利に導いたことは疑ひない、さらにかくも偉大な兩海戰によるわが方の損害はわづかに驅逐艦一隻小破といふに至つてはわが海軍の無敵ぶりにたゞ〳〵驚歎のほかはない

北佛降下、忽ち敗走

笑止、英の落下傘部隊

【ベルリン廿八日同盟】英國當局が廿七日發表、北佛上空に落下傘部隊が來襲を試みたことは大東亞の敗戰に對する國民の耳目を轉じ、出來れば獨軍の對英攻撃を前に阻止攻撃を企圖したものと思はれるが、獨軍小數部隊の反撃により直ちに敗退したことは最近より優勢に新規作戰を企圖する勇氣のなかつたことを證明するものでデーエヌベー通信社もこれにつき廿八日左の如く報じてゐる

英軍は少數に對する[illegible]を企圖して二十七日北佛沿岸地帶に落下傘小部隊を降下せしめたが、直ちに獨軍の反撃を受け、再び來襲機を襲つて英國に逃げ歸つた、この『勇敢なる退却』を行つた以外に何物をも得ることが出來なかつた、かゝる英軍の企圖は西部戰線における獨軍の防禦に敵軍の動搖をも與へるものでないことはいふまでもない

メルボルンで敗戰會談

上海特電【廿八日發】メルボルン來電によれば、廿七日メルボルンに於てオーストラリヤ、ニュージーランド及び米英蘭各國の軍首腦者が大東亞戰爭勃發以來[illegible]西南太平洋戰局の現段階に對應する聯合軍戰略の根本問題に關し協議を遂げたと傳へられてゐるが、同會談は來る三日まで行はれる旨で會議にはカーテンオーストラリヤ首相、サリバン=ュージーランド副首相ら出席し日本軍の來るべき濠洲攻撃に對する防衛問題が熱心に討議されたが廿八日より三日間は本會議ともいふべき重要會議であるといはれる

巡洋艦撃沈(蘭印側自認)

【リスボン一日同盟】當地で傍受したBBC放送によれば蘭印海軍當局は二十七、八の兩日にわたるスラバヤ沖ならびにバタヴィヤ沖兩海戰において反樞軸聯合海軍が蒙つた撃沈艦船のうちに蘭印巡洋艦および驅逐艦が含まれてゐることを確認した

シュペー號の仇を討つ

海鷲、エクゼター號撃沈

【東京電話】英甲巡エクゼター號はジャバ沖でわが海鷲に撃破されたと傳へられるが、同艦は八、三九〇トン、八インチ砲六門、速力三十二節で英が保有する甲巡中の新鋭艦で一九四〇年冬モンテヴィデオ沖において僚艦アヂャックス、アキレス(いづれも輕巡)とゝもにドイツのポケット戰艦グラーフ・シュペー號と交戰、劣勢な砲力にもかゝはらず被彈に大損害を蒙りつゝもブルドックの如く喰ひ下りつひにラプラタ河にシュペー號を追ひこみ自沈せしめるに至り、英海軍傳統の見敵必攻の精神を謳はれたものであつたが、今やわが海軍航空部隊の前に屈服させ盟邦ドイツの仇を討取つたわけである

世界の原動力日本

滿洲國建國節の夕べ 大平陸軍報道部長講演

【東京電話】大本營陸軍報道部長大平秀雄大佐は一日午後六時二十分より日比谷公會堂における「滿洲國建國節の夕」において講演を行ひ「滿洲國の建國は日本の世界新秩序建設に對する[illegible]の目標である」と述べ、さらに日滿兩國の宿命的不可分關係、大東亞戰爭と滿洲國の役割を明かにし聽衆に多大の感銘を與へた、同講演はAKのマイクを通じて全國に中繼放送された、講演要旨左の如し

滿洲の事變も支那事變もともに[illegible]年の禍根が發展したものであり、その性質を一にしてゐるが、現在の大東亞戰爭が支那事變の延長であり、支那事變の[illegible]を發してゐるとするならば、大東亞戰爭はまさに滿洲事變よりその第一歩を踏出したものといへよう、日本と滿洲國は一心一體の關係にある、一方が倒れれば一方も倒れる、すなはち日本の爲には滿洲國から日本を見ればこれまた生命の綱である、今やこの二つの國は力を合せて大東亞戰爭を戰つてゐる

日滿の宿命的關係

滿洲國と日本は滿洲建國によりはじめて[illegible]がはじまつたのではなく實は明治維新から切つても切れぬ關係にあつた、かの明治二十七八年わが國は[illegible]とした朝鮮の危機を救ふため清國と國運を賭して戰つたのである、朝鮮問題は滿洲問題の出發點にほかならない、由來日本内地を安全にするためには朝鮮の安全を必要とし朝鮮の安全のためには滿洲を安全にせねばならぬといふ東亞の[illegible][illegible]

世界變動の遠因をなした滿洲建國

[illegible]

新体制
賣手も買手も
"ありがたう!"
ホープ・インク

賣行烈しき四著・增刷出來
父心 母心 肚で行く 青春の智慧
友松圓諦著 新時代の男性讀本 價一・五〇
友松圓諦著 女性の幸福 價一・五〇
山中峯太郎著 價一・二〇
石丸梧平著 價一・[illegible]
東京日本橋 偕成社

人間と死
友松圓諦著 價一・五〇 〒・一〇
教界の第一人者たる著者が死の問題を解決し、生の眞意義を説く、豐富な體驗と深き洞察により死と死後を語り、また佛教の面目を平易によく傳へた近來の名著!

★南方の現實を語る
シンガポールを失つた英國 田村幸策
▼マレー▲ 飯塚茂
▼ヒリツピン▲ 星篤比古
▼ビルマ▲ 山田秀藏
黒い髮の毛の香港 磯谷廉介
大東亞戰下の上海
穗積重遠博士に訊く 學問・生活・戰爭
安田翁の計算
貴ぶべき沈默の訓練 増田義一
大東亞戰爭と產業戰士の覺悟 町田辰次郎
商業者の企業合同はどうする、 新保
日本地政學と太平洋戰 小牧實繁
陸海軍の南方經營ブレーン 大場彌平
要塞戰の話
アメリカの政治と國民性
シンガポール陷落と株式投資
造船株と造機株
衣料切符制と生活更新
私の衣料切符活用法
東亞の禍根を斷つ 大平秀雄
歐洲戰局はどう動く 鈴木東民
南方進出の心構へ 商工次官 椎名悦三郎
戰爭遂行と日本經濟 藤山愛一郎氏 鄕古潔氏 對談
實業之日本 三月一日號
定價四十錢 送料一錢五厘 東京京橋 實業之日本社

機械化 國防科學雜誌
定價50錢 送料3錢
大東亞戰爭 ラングーン爆撃 マレー進撃の戰車部隊
大東亞戰爭繪物語
太平洋主要基地敵機配備表
大東亞戰爭戰況地圖
敵國米國の軍需工業の內部をみる
航空特輯 祖國の生命
初級用小型ラジオの作り方と故障の直し方
東京市神田區神保町二ノ一〇 山海堂出版部

月曜産業

經營難を緩和し 民有林伐採跡地造林

農林局補助事業を決定

一、補助林野

二、樹種及數量の決定

三、補助の程度

四、營林の指導監督

タンニン資源の確保へ

保護組合設置

朝鮮ウルシ復活

需要者の要望に應へ 増殖十ケ年計畫樹立

一、保護組合の設立

二、カシワの造林

三、伐採の制限

四、指導監督

一、増殖地域

二、増殖助成

三、保護管理

四、その他

農村中堅人物を描く

貧農から身を起す 光る豐山幸丈君

老聞に沸る情熱 京畿李家敦勳氏

默々と實行 京畿松岡炳喜君

産業顧問

麻眞田捲絲の生産方法

實綿加工に就て

詔書渙發

詔書

減刑、復權令公布

永遠不易の道義

親邦の天業を輔翼せん 張國務總理謹話

日滿華を中核に 東亞の前途決定的

日滿交驩放送要旨 東條首相放送

抑々

而し

惟ふ

日滿

歸來するものあらば咎めず

建國記念日に布告

泰厚生省新設

滿洲國建國十周年慶祝式

盟邦の隆昌祈念

軍官民多數參列 嚴肅盛大な祝典

慶祝會朝鮮支部 總力聯盟共同主催

道義的基軸を强化 共榮圏に垂範

鮮滿一致 特異の使命に邁進 南總督祝辭

今や

獨總領事祝電

滿洲帝國の重要地位 再認識せよ

衷心繁榮を念願す 川岸總長式辭

國運日に隆盛

洵に慶祝の極み 首相祝辭

今や

週刊朝日 三月八日號
滿洲は何處へ行く
英雄と英雄國

現代 三月號 定價八十錢 大南洋號
南方經濟開發の核心(座談會)
大アジアの復古維新宣言…小牧實繁
日本的世界觀に於ける世界理念…齋藤晌
シンガポール陷落と新戰略態勢…匝瑳胤次
研究會 戰爭經濟學の發展
大東亞の建設と國本の培養…田中武雄
大東亞戰の發展と印度の動向
烏來軍報道班員の手記…里村欣三
大東亞教育の根本…阿部仁三
グラビヤ 特輯 バリ島
日本語と南方共榮圏…石黑修
南方發展と日本民族
南方地域に對する學術的方策…早坂一郎
大東亞戰爭と北方問題
總選擧と國民の意志
南方資源地圖(折込)
創作 虜囚 大内直通
作 吹雪の夜 伊藤永之介
純忠菊池一族…菊池寛
濱田彌兵衛
梅田雲濱
各地書店販賣・發行所 大日本雄辯會講談社

公論 三月號・九十錢
特輯 戰爭貫徹の具體案
◇我國獨自の民族政策論…村山道雄 ◇南方開發の構想…中村正一 ◇高度國防國家の内包と外延…原田鋼 ◇大東亞圏の人口問題…古屋芳雄
戰爭經濟學の方法…難波田春夫
高丘親王 マレー最初の日本人…杉本直治郎
◇時局建設問答 ◇社說三題 ◇六號時評 ◇その他
大東亞戰の本質…渡邊薫美
旗の美…谷口吉郎
教育論…前波仲尾
夜襲と敵前上陸…中島少佐
建國賦 グラビヤ版 滿洲帝國建國十周年
創作 世紀の進軍…八木沼丈夫
有馬新七…大坪草二郎
新嘉坡陷落の詩…福田正夫
☆ビルマ・インドの反英運動(座談會)國分正三◇山田秀藏◇蒲池清◇廣田英祥◇五十嵐智照
◇修行の形態とその意義…岸本英夫
帝國海軍史論 廣瀬大佐
神の軍勢(歌)…坪野哲久 四方清明(歌)…齋藤史 惟神日本(歌)…高崎正秀
尊王に徹する堂々たる本誌の進軍を支持されよ!!
特輯 英國を弔ふ ◇井澤弘◇神田孝一◇塚原富衛◇寺田彌吉等の執筆 尊王に徹す
東京市麴町區二ノ二 振替東京一八八六番 第一公論社發行

最も進んだ 興亞化學工業會社製の 高級ヴァニシングクリーム
マツクリーム (規格品)

創立 明治三十二年
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 堀正一
專務取締役 井上清

最新 男性賦活ホルモン
セキマイシン
鯨睾丸製劑
大日本製薬株式會社

時計 蓄音機 レコード
明時堂 京城驛前
カメラ

世紀の體檢始まる

街を、村を壓す鐵の體

檢査場は譽れに莞爾の若人群

歴史の光榮に輝く"朝鮮徴兵制"體力檢査は一日全鮮二百七十箇所の檢査場で一齊に幕を切つて落した——皇國の榮譽ある大東亞戰下、半島若人が陛下の御楯として一死報國の誠に燃ゆる意義ある日である、折しも滿洲國建國十周年記念日の佳き日、この朝全鮮津々浦々は日の丸の旗が翻へり、て各國旗の下に"死なんかな"——毅然たる決意を胸に懷き檢査場へ／＼と急ぐ若人たちを迎へて祝福するかのやうであつた

嚴肅な裡にも和やか

歴史的なこの朝、街といふ街は檢査場へ急ぐ受檢者とその父兄たちの使ひ足音で賑ひ、檢査場はどこもこれら譽れのひとだちでいつぱいだつた

やがて午前八時半、南大門、西大門、元町、鍾ケ丘、龍山、昌信、東大門、京城府廳、東部京城、京城府の各國民學校、國民學校の十一檢査場に整揃つた受檢者は徴兵官の訓示、軍醫官の訓示、皇國臣民誓詞を斉唱して開始式を終つたかくて開始の若人たちの體は直ちに身長、體重、胸圍、視力の檢査が開始され、精神、一般檢査等の順序で、視力、握力、眼、耳、鼻、口、齒、皮膚、四肢など檢査され、體位等位が判定された、各檢査場には……

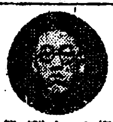
（受檢者は）次々に並んで入つて來る白いパンツ、赤銅色に燒けた胴、逞しい腕……大東亞戰下の若人にこの誇を身體の前に示す勢ひある日、やがて自分の番を待つてゐる、やがて自分の名を呼ばれると身長、胸圍、體重、視力の順序で體力を測定して貰ふ、兩隣の檢査官の嚴肅な中にも和やかな空氣を醸し出す、檢査場には京城府から第一日を終つた

檢査第一日の状況を熱心に觀察した、かくて譽れに輝く檢査第一日は堂々と進む若人の胸の躍りによつて大東亞建設は若く輝く……

受檢者の決意を訊く

"何時でもお役に"

金光、金吉兩君の赤心

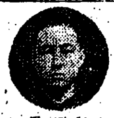


大東亞戰爭完遂のためいつでも國家のお役に立てて頂きたいと思ふ、健康ある體力檢査に依然参加した本町一丁目七二ノ一·K（金光氏）と竹添町一丁目所在上記金光、金吉兩君

（寫眞）＝檢査を受驗する西小門町……

"早く第一線へ"

熱意迸る金澤君



この日檢査を受けた和信産業……本町支店勤務……の金澤哲太郎君（二）は……

"先づ上乘"

島津大佐語る

國民として……大東亞戰爭完遂のために早く第一線に立つて働きたいと思つてをります（寫眞＝金澤君）

豫期以上の成績

岡保健課長の第一日評

京城府保健課長岡……

傷痍の勇士に春の生人

大陸の戰野に赫々の勲をたてた傷痍の勇士が……

（寫眞＝川島新夫妻）

葬儀費を節約して寄附

日佛間無線通信

三日から再開

【東京電話】昭和十五年六月パリ陥落に伴ひ……

高松宮殿下台臨

帝都の滿洲建國祝賀式

【東京電話】滿洲國建國十周年祝賀會は滿洲國の主催で一日正午から帝國ホテルに開く高松宮殿下の台臨を仰ぎ奉り東條首相、嶋田海相、東郷外相、八田鐵相、岩村法相、井野農相、賀屋藏相、鈴木企畫院總裁を初め、在滿滿洲國大使、元滿洲國大使など朝野の名士約三百五十名出席して盛大に擧行された、との日殿下には午後零時十五分帝國ホテル內の會場に御成り遊ばされ東條首相の御案內にて正面に御着席、たゞちに開宴、在滿洲國大使、泰國大使、スタマー獨大使、オット獨大使、インデリ伊大使……滿洲國皇帝陛下、高松宮殿下の御健康を祝し奉り乾杯、滿洲國の建國十周年を壽ぎつゝ和やかに宴は進められた、ついで東條首相、張滿洲國大使、オット獨大使、ナイディレック泰國大使からそれぞれ祝辭が述べて、午後二時半ごろ宴の午餐會を終り、高松宮殿下には同二時半御歸還遊ばされた

日滿の契り彌固し

この日、南さん感無量

若き滿洲國の躍進を祝ふ「滿洲建國十周年慶祝會」は朝鮮、京城、京城三府及び朝鮮政會兩氏の共催のもとに一日午前十時から京城府民館に開催、板垣軍司令官をはじめ海軍武官府、總督府、京城府警察部長、鈴川司政官長など日滿軍官民各界の代表者約三百名参列のもとに盛大に行はれた、太平洋を壓して大東亞戰爭酣のとき、莊嚴裡に日滿の契りいよ／＼固きを祝ふ創世の祭典だ

八紘一宇のわが大理想を顯現する歴史的裝付けの式典だ

この日滿洲國の歩みの語ともいへる南總督は十二年前立てて慶祝大會の會長を迎へ……

寫眞＝（上）京城府民館に於ける滿洲國建國十周年記念式典（下）在京滿洲國總領事館の祝宴

……今や滿洲國は政治、文化の各方面に……

民族五協の大祝典

總領事館の祝盃

宛ら背中に火焰

烈々、而も征く挺身魂

猛暑と闘ふ皇軍

【ビルマ前線〇〇廿八日發特電】背中に火を負ふかと思はれる暑さだ、全身の水分は最後の一滴まで絞り出されて汗となつて流れてゐる、時たま木の葉が陽光を反射してぴかりと光る、それを見てゐると眼に焼きつくまるで熔鑛爐の中をあるいて……シャン山系の暑さは……

街に戯れる子供

昭南港、逞しき復舊

新京の祝典

ハルビンの祝賀

時計の修理は村木へ

是さへあれば お料理は滿點◇

美味經濟な榮養調味料

明治小倉武エキス

明治製菓株式會社

ラジオ　二日（月）

朝　六・四〇……

晝　一一・〇〇……

夜　六・〇〇……

第二　六・三〇……

料題特急

精純 密正 製規 圖格 用芯

コッホ鉛筆

神速 堅牢

設計と製圖

產婦人科　橋本吉藏

イチバン新しい中學講義錄

◎全朝鮮獨學青少年諸君の喜び

見本一冊進呈

東京豫備學校出版部

外科　白麟濟病院　京城府永樂町（元植村病院跡）電話本局②〇一二七〇番

贈答用箱入債券　戰時の贈答に戰時債券

日本勸業證券會社京城支店

見習工募集

一、募集人員 五〇名
二、應募資格
三、就業場及作業ノ種類
四、應募手續
五、採用方法
六、採用後ノ資格待遇

京城職業紹介所

強力ビタミンB劑

ベリベロール

脚氣と榮養に

粉末・錠劑・液劑・注射液

若松家御用達　ニシヤマ

父淸治郎儀豫而病氣の處療養不相叶本二月二十八日午後九時拾參分永眠致候間茲に生前中の御厚誼を深謝致し此段御通知申上候

追而葬儀は三月二日午後四時元町貳丁目西本願寺に於て相營可申候

昭和十七年三月二日

男子　若松賢三郎

婦人俱樂部三月號揭載

南進の先驅者達の血淚引揚にからまる大傑作小說!!

愛は血ならず

竹田敏彥先生の會心作

北島醫院

結核

ツベローゲン

醫學博士成田夬介先生創製

肋、腹膜炎特殊注射劑

植村製藥株式會社　京城府新堂町

合格おめでたう

龍谷高女

笹野静子、市原玉順、松浦輝子、野井井枝、原山明子、田所美穂子、佐藤利子、宮崎安子、岡田文子、萩原涼子、田内留子、森山富美子、[illegible]、淵川スミ、佳田三瀬子、藤本富美子、川瀬ル子、佐々木信子、中田ヨネ子、國分八重子、橋本イツミ、吉澤英月、岡本トキエ、辻順子、森本美代子、大澤瑞子、藤本晶子、井上春江、岡安省子、野崎絹枝、松永清子、小坂賀代子、松浦富子、人見幸子、中村元子、松尾節子、山田マキエ、最山和子、東田富佐子、島田節子、清水澄子、中村田子、坂川富代子、石川由和子、戸田節子、野中昌子、田中美江、入口さく、若杉由子、山下芳子、阿久根孝子、山本幸子、小坂美代子、大島ヤスエ、高橋幸子、和田文子、勝川富美子、松岡節子、増田節子、高山美奈子、佐藤節子、森藤美子、竹鼻節代、北谷光子、木村妙子、荒木光子、松井政子、天野節子、吉岡房子、岩田昭子、矢野貞子、宮城静子、西岡美佐子、森本善美、間野利子、安田秀代、岩井みつ子、堀田登志子、伊藤富美枝、大塚澄代子、谷岡とサヱ、小笠原妙枝、山本智惠子、高橋良子、本城順子、太田ミドリ、戸塚満枝、小山登美子、三宅節子、松浦しづ子、野田和惠、熊谷節子、鶴田惠美子、中山美代子、下村利子、成瀬美代子、岩城英子、木村和子、[illegible]

女子商業

[illegible]

第三高女

[illegible]（以上二百三十八名）

舞鶴高女

[illegible]（以上百六十名）

愛の赤道【20】

竹田敏彦（作）
都竹伸一（繪）

異母兄（五）

「さうか……」

孫崎は、行き過ぎた自分の失敗を、照れ隠しさうな苦笑で紛らした。

「おや、もう歸るよ。これから、何處へ行くんだね」

二人はいつしか高校前の大通りを越えて、目近く驛の鐵塔が見えてゐた。

「ちよつと中野まで行つてきます」

「ぢや、また晩にでも、ゆつくり話を聞かう」

孫崎は、悠然な表情から救はれたやうに言つた。

二郎が中野驛で下車した時には天氣も直つて雲の間目から、薄日が射してきた。

城山町××番地—手帖の控へを見ては、煙草屋でたずねたり、通行人にきいたりして、やつと探し當てたその番地は、むしろ東中野驛に近い、閑靜な住宅地域の表通りを入り込んだ、細々と曲ち並ぶ古めかしい小住宅の一軒だつた。

脇木禮介——

恐らく燒失のずつと以前、まだこの邊の殆ど畑分に廻つたものらしく、黒ずんだ二階家の軒先に、二郎は訪ねる標札を發見すると、

「ほう、此處か」

と、暫く歩をとめて、その細々とした家の構へに戀ほめいた瞳を落ちつけた。

「ごめんください」

間もなく、格子戸を開けた二郎の聲に、

「はい、どなた」

すぐ障の向ふから若い女の聲がして、十七八歳の娘が二郎の前へ手を突いた。

「御主人様いらつしやいませうか」

「あの、失禮ですが、何方様でございませう」

淑かに顏を上げた。夕暮のやうな暗い陰氣な顏ではあつたが、格子戸から射すわづかな明りに白く浮き出た少女の顏は、愛くるしく、二郎の眼を瞠らせた。

「あの人の妹だな」

二郎は、咄嗟に或る心當りのした美しい幽女の面影を浮かべながら、

「大槻二郎といひまして、最近タベオから歸つた者です。これをお見せ願ひます」

一通の手紙を、名刺に添へて出した。

「暫くお待ちくださいまし」

少女は、受取つて奥へ入つたが、やがて代つて、六十過ぎの憔悴の老人が顏を出した。

「私、克二の父でございます。よくおいでくださいました。さあ、どうぞ……」

二郎を迎へて、奥の座敷へ誘つた。その座敷には思ひがけない七坪ばかりの庭がとられ、日當りに惠まれた疲うわかの野菜畑に二三株のコスモスの花が風情を添へてゐた。

「脇木君には始終お世話になつてゐた大槻二郎でございます」

二郎が改めて、初めの挨拶をすると、

「いや、私こそ、倅や娘が、始終お世話になりまして」

老人も慇懃に會釋したが、

「手紙を見ますと、克二も、依然として、變りなくやつてゐるやうですが」

「はア、お二人とも、至極お元氣でゐらつしやいます……私が參つた時も、わざくお見送りで、サンタ・ポーラまで見送つてくださいました」

二郎がからいつて、その日の青い海を思ひ浮かべた時、

「粗茶でございます」

さつきの少女が茶菓を運んできた。

「これが二人の妹で、克子でございます」

「さうですか妹さんですか」

奴爛の麗しさにも似合はない、この部屋の明るい光線に、二郎は返く則れてきた。この家の長女と瓜二つの少女の顏を……

どこが特許？

三菱特許製圖鉛筆

明瞭度百%の青寫眞がとれる化合物を、芯に含ませて烏口の引き直しを省いた我が國で唯一の本質的特許です。

三菱鉛筆

昭和十七年度 學校案内

東京・高等學校・三邦社 扱

法政大學
中央大學
東洋大學
拓殖大學
日本大學 專門部 法律科 政治科
日本大學商經學科
日本大學 藝術科學園
日本大學 專門部 齒科
日本大學齒科醫學校
高等商業部 二百名 關東學院
善隣高等商業學校
中央無線電信技術員養成所
國士舘專門學校
日本女子高等學院
東洋女子齒科醫學專門學校
日本女子齒科醫學專門學校
帝國女子專門學校
日本大學高等工學校
ADAM SMITH THE WEALTH OF NATIONS
A DICTIONARY OF CORRECT ENGLISH
攻玉社高等工學校
高等無線工學校
第一無線高等工學校
武藏野高等無線電信學校
國民工業學院
大倉高等商業學校

第拾貳期決算公告

[illegible]

第四期決算報告

[illegible]

東邦鑛業株式會社

貸借對照表

（昭和十六年拾貳月參拾壹日現在）

朝鮮有煙炭株式會社

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

☆眼病を治す
トラホーム ものもらひ
結膜炎 角膜炎
光線眼炎 やに目
雪目 こり目
はし目 打ち目
はやり目 なみだ目
疲れ目 血目
☆目を強く美しくする
☆紫外線の害を防ぐ

一粒で三作用

マスミヨクキク

大學目藥

強い視力で職域奉公

職場に一滴——家庭に一滴——毎朝點眼

745

祝皇軍大捷

進む皇軍後押す貯蓄

斷乎！米英撃滅だ

（順序不同）

平壤府泉町 鍬市
電話二七五六番
平壤自動車株式會社々長
平壤キネマ館主
平壤莫大小工業組合
平壤ゴム工業組合
平壤被服工業組合
平壤百貨店組合
朝鮮西鮮支部
日本穀産工業株式會社
朝鮮煉炭株式會社
平壤事務所
朝鮮纖維雜貨元卸株式會社平壤支店
平南無盡株式會社
平壤原木商組合
平壤府船橋里 朴儀昌
朝鮮地籍協會
平壤支部
平壤酒造組合聯合會
平壤酒造組合
平壤府新倉里 崔應斗
平壤府大興町 伊藤佐七

産婦人科 入院應需
醫學博士 安田 実
京城旭町二ノ二（三越東側上ル）
電本局4655番

皮膚泌尿科 性病科
金 應允
[illegible]

タイピスト生徒募集
[illegible]

性病 肛門科 醫學博士 高峰潔
[illegible]

タイプライター
[illegible]

タイプライター販賣と修理
[illegible]

京城本町四丁目 荒川屋吳服店
電本②七六八番

洋服地、裏地
[illegible]

荷造ト機械運搬
戸村組
電本②五〇七八

會計檢査、會社設立
會社解散並ニ清算事務
新税務及決算事務
計理士 香川弘
[illegible]

京日案内

寫眞機と材料一切
[illegible]

寫眞機械材料
[illegible]

寫眞機械材料販賣
[illegible]

貸衣裳
[illegible]

京日案内

特別案内

性病 [illegible]
社員 [illegible]
運轉手 [illegible]
レチ [illegible]
家庭 [illegible]
求職 [illegible]
電話 [illegible]
尋犬 [illegible]
藥劑 [illegible]
貸家 [illegible]
照度 [illegible]

採用
女子事務員採用 守谷商會京城支店
女子事務員採用 夏川小間物店
朝鮮消防機具
建築技術者招聘 中央興業組合
女子事務員募集 朝鮮機械製作所
女子事務員募集 新井藥房
求貸家 磯崎製作所京城支店
賄婦を求む 明治製菓京城支店
女子集金人採用 綠旗聯盟本部

第一劇場
三月一日ヨリ（四日間）
大東亞戰爭 戰況ニュース（第88號）
文化映畫
大平洋斷じて護る
（國策ウファ）美しき犧牲
雪山の騎士

中央劇場
三月一日ヨリ五日マデ
大東亞戰況ニュース
文化映畫
忘られぬ面影
リビヤ白騎隊

喜樂館
組國に告ぐ
幽靈氷藥師

京日文化
二月廿四日（三日間）
海の釣魚
アメリカ太平洋基地

朝日座
吾妻家政之助

東洋劇場
二月二十四日より
純情日記

桃花劇場
二日上映（四日間）
授業料
大いなる感情
伸びゆく東京港

新富座
二日上映（四日間）
新開地
我が家は樂し
まごころ

大陸劇場
文化映畫
隊長ブーリバ
大地に歡ふ

浪花館
三月一日ヨリ上映
速報ニュース
紅葉狩
春星夫人

京劇
二十五日より
日本ニュース
姫岩大納言
若き日の歡喜

城寶
廿六日より上映
大將の母
海の母

和信館
1 大東亞戰爭戰況ニュース（第八十九號）
2 朝鮮ニュース
3 特輯 海軍落下傘部隊
4 獅子港陷落
5 ラインランドの
6 鋼を削る

明治座
三月一日ヨリ
無敵海軍の唄
ニュース
かぐや姫
家族

東寶若劇
二月二十八日ヨリ
落下傘部隊
ちやつきり金太

城南劇場
二月二十八日ヨリ
日本ニュース
男性對女性